

令和6年度 第2回 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村
地域公共交通活性化協議会 議事概要

日時：令和6年10月23日（水）午後3時～午後3時45分
会場：河南町保健福祉センター「かなんぴあ」2階 大会議室

●出席委員 25名

猪井委員（オンライン出席）、中村委員、釈迦戸委員、江藤委員（オンライン出席）、大上委員、亀井委員、西田委員、湯口委員、金谷委員、岡崎委員、古川委員、伊藤委員、井関委員、田邊委員、野谷委員、松川委員（菱田氏が代理、オンライン出席）、松崎委員、芝辻委員（小川氏が代理）、市村委員（松本氏が代理）、小森委員、中塚委員、吉村委員、田中委員、村岡委員、森田委員、江島委員、菊井委員

●欠席委員 3名

川邊委員、佐藤委員、松田委員

●公開・非公開の別 公開

●傍聴人数 19名

●会議次第及び議事要旨

案件

（1）地域公共交通計画の策定状況について

地域公共交通計画策定支援業務の受注者である中央コンサルタンツ株式会社より
資料1-1に基づき説明した。質疑及び意見等は議事概要のとおり

「基本方針（案）」について、事務局より資料1-2に基づき説明し、承認された。
質疑及び意見等は議事概要のとおり

（2）令和7年度 事業概要について

事務局より資料2に基づき説明し、承認された。

（3）その他

事務局より次回会議の開催日時等について、報告した。

日時：令和7年1月23日（木）午後2時～

場所：河南町保健福祉センター「かなんぴあ」2階 大会議室

●資料

別紙 委員名簿

資料1-1 現状分析・各種調査結果の報告、公共交通の課題について

資料1-2 基本方針（案）

資料2 令和7年度 事業計画書

●議事概要

会長挨拶

吉村会長 前回の協議会において、地域公共交通計画策定にあたり、金剛ふるさとバスの大きな方向性を定めた基本方針を決定する必要があるとの猪井副会長からの発言を受けて、4市町村長と猪井副会長とで今回の協議会までに協議を行ってきた。本日の協議会においては、「地域公共交通計画」の策定に向けて実施したアンケート調査、OD調査、ワークショップ等の調査結果等について報告するとともに、4市町村長と猪井副会長とで協議を行い作成した基本方針（案）について協議していただきたい。また、令和6年度も後半に差し掛かったので、令和7年度に実施予定の事業概要についても協議させていただきたい。本日の協議会においても、委員の忌憚のないご意見をいただき、ともに考え、議論していきたいので、よろしくお願いします。

案件

（１）地域公共交通計画の策定状況について

松崎委員 P13の金剛ふるさとバスのOD調査について、便ごとの人数だけで整理されているが、この内容だけではバスの発着時間が分からないため、バスの発着時間が分かるような表も付けていただきたい。

事務局 地域公共交通計画の資料編として、発着時間ごとの利用者数が分かる、より詳細な資料をお出しする予定である。

・「基本方針（案）」について

猪井委員 基本方針は今後5年間を見据えたものであり、金剛ふるさとバスの運行については、減便や廃止はせずに運行を継続していく。しかし、ワークショップやヒアリングなどで金剛ふるさとバスが利用しづらいなどの意見があるように、運行を継続しながら見えてきた課題に応じて、変更しなければならない事項はあると考えている。また、分科会の設置に関しては、行政だけで運行の改善や利用促進等の案を議論するのではなく、住民の方々とより密接な関係で議論できる場にしたいと考えている。また、自動運転等の近年発展する技術の導入については、大阪府と連携して積極的に活用を図り、本地域の公共交通を維持していきたいと考えている。大阪府の江藤委員はどうお考えか。

江藤委員 万博終了後の自動運転バスの実証実験に向けて様々な検討を進めているところである。大阪府としても推進技術として取り組んでいる事項であり、積極的に活用していただきたいと考えているので、基本方針の文案について異論はない。

吉村会長 基本方針（案）について異議なしということでよろしいか。

各委員 異議なし

以上